



本学では、幅広い知識を養う教養科目や専門的な知識・技術を学ぶ専門科目に加え、学科の枠を超えて多職種連携を学ぶ「連携教育」を4年間にわたり展開しています。

その一環として、2年次には【連携基礎ゼミ】を開講。他学科の学生とチームを組み、保健・医療・福祉・スポーツに関するテーマでグループワークを行います。これにより、関連する職種への理解を深め、将来チームの一員として活躍するための協働スキルを身につけることができます。

本学ならではの特色です。



私たちのゼミでは「各専門領域における笑いの効果」をテーマに、学科を越えて意見を交わしました。互いの学科の特性を理解し、異なる視点に触れることで新たな気づきを得ることができました。活動を通じて、専門分野が異なってもチームとして協働する重要性を実感しました。今後看護師として働く際には、この経験を生かし、多職種との情報共有や意見交換を積極的に行い、互いの専門性を尊重しながらより良い医療を提供していきたいと考えています。

看護学科2年 佐藤里南



今年度は、卒業生と在校生が交流できる機会を設けることができました。連携教育にも卒業生が参加し、後輩の育成に尽力してくださっています。在学生にとっても大きな刺激となり、学びへの意欲を高める貴重な場となっています。



卒業生を囲む会に参加し、新人看護師としての現場の様子や関西での就職について具体的な話を伺いました。助産師を目指す私にとって、新潟から関西へ就職する道の実際を知ることができ、大変参考になりました。卒業生の方は経験や苦労、やりがいを分かりやすく語ってくださり、進路選択や今後の学習への取り組みを考える良いきっかけとなりました。この機会を通して、関西での就職を目標に、学校生活にもより意欲的に取り組んでいきたいと感じました。

看護学科1年 今井晴奈